

これが興譲館の「本当の」修学旅行 2年 大学・施設見学会

本校のスーパーサイエンスハイスクール指定により開始された関東方面への大学・施設見学会も今年で6年目となった。本校では、生徒が進路意識を高め、目標を具体化させるための大事な行事となっている。



上野恩賜公園でピース

主な訪問・研修先一覧

1日目 選択別施設見学

JR東日本／法務省／みずほコーポレート銀行
国立スポーツ科学センター／理化学研究所
清水建設／日本科学未来館

2日目

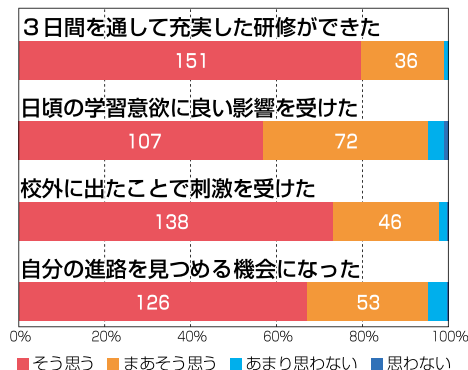
本校OB・OGを囲んでの分科会
本校OB・OG引率による班別大学訪問
班別自主研修(文化的施設又は大学)

3日目

選択別施設見学

東京国立博物館／国立科学博物館
国立西洋美術館／東京都美術館

大学・施設見学会 生徒アンケート結果



今回の研修を終えて、私は今更ながら進路意識が高まりました。やはり、実際に大学へ足を運んでみると様々な発見があり、自分の将来へのビジョンが広がったように思えました。大学を直接見学することで、勉強への意欲が湧きました。この気持ちを糧に、迫り来る受験に臨みたいと思います。また、今回は大学以外にも

大学・施設見学会を終えて

2年 半田 歩武 (高畠二中出身)

様々な企業や研究施設を見学しました。日本の最先端の技術や超一流企業の企業努力を学ぶことで、大学卒業後の自分の姿を思い描くことができました。今回学んだことは自分の進むべき大学を決める大きな手がかりとなりました。そのような意味でも今回の研修は大いに実りあるものになりました。



国立スポーツ科学センター



説明に熱心に耳を傾ける
(清水建設にて)

興譲館だより

Yonezawa Kojokan High School

第13号 平成20年12月26日発行

山形県立 米沢興譲館高等学校

〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

多くの人々とのつながりを感じる興議祭

『愛』のある興議祭

興議祭実行委員長 3年 黒澤 崇将
(川西一中出身)

私たちは多くの人の『愛』に支えられて生きています。家族、友達、地域の方々…。しかし、その『愛』に気付く機会はなかなかありません。だからこそ興議祭を通して、たくさん人の『愛』を感じてほしい。そんな願いを込めて、『愛』君の漸近線になりたい。のテーマの下、興議祭が開祭されました。

今年度は三年生の有志も企画・展示に参加し、例年にも増して学校全体が一丸となった興議祭になりました。一つの目標に向かってお互いに協力し合うことで仲間の大切さを知り、クラスや学年の繋がりがより強いものになりました。興議祭を通して、たくさん人の『愛』を感じることが出来ました。

興議祭の成功に向けて協力して下さった生徒の皆さん、先生方、地域の皆様、本当にありがとうございました。



米沢と昔の会



三年有志による魚つかみ

で学んでいく興議館生

クラスの絆を深める 合唱コンクール

私達のクラスは選曲から多くの時間を費やし、とにかく最高の合唱にしようという意気込んでいました。

夏休み前には毎日のように練習しました。私達は難曲を選んだことで苦労しましたが、パートリーダーや吹奏楽研究クラブ所属者が先頭に立ち、皆を引っ張ってくれたおかげで、日に日に力をつけていくことができました。

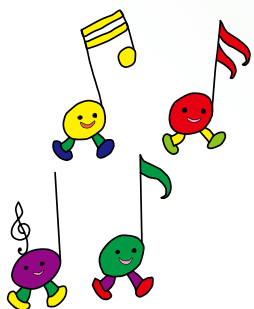
コンクールの当日、舞台袖で待っている時は本当に緊張しましたが、ステージで歌う皆の顔は真

悲願の合唱コンクール最優秀賞

3年 鈴木 勝渡 (米沢三中出身)

剣そのもので、最高の合唱ができました。

私達が優勝できたのも、休日の練習に付き合っていたいた保護者の方々のご協力、戎谷先生や盛雄先生のご指導のおかげです。本当にありがとうございました。



先輩方とのつながり 「同窓生と語る会」

「同窓生と語る会」を通して

1年 松本 彩花（米沢三中出身）

医師という仕事は半端な気持ちでは勤まらない。私は、現在小児科医として活躍されている本校の卒業生、仁科先生の講話を拝聴し、そう痛感した。この講話では、進路冊子などからだけでは伝わらない多くの大切なこと、特に医師としての技量と同じように、患者さんと心を通わせるための信頼関係作りがどれほど大切なのかということを教えられた。今までにない有意義な時間を過ごすことができたと思う。

今、進路選択をしている私にとって、医師という職業をここまで深く見つめることができたことは大きい。この会で学んだことを今後に活かし、志を高く持つて努力していきたい。



様々なつながりの中で

歴史・文化にふれる
**宮城県立
高鍋高等学校**
との交流事業



思い出深い交流会

生徒自治会長 2年 島貫 良多（川西一中出身）



宮城県立高鍋高等学校との交流事業は今年で九年目となります。今年は私達生徒六名が訪問させていただき、貴重な体験を沢山することができました。

訪れた場所、言葉、食事、生活のスタイルが米沢とは異なることが多く、それら一つ一つが印象深く、自分の見聞、視野を広げることができました。

この交流の礎を築いた上杉鷹山公の時代は、交通も発達しておらず、情報の発信もあまりありませんでした。二百猶予年の時を超えた今、このように交流事業が行われることは、鷹山公の叡智を感じざるをえないのです。そして、これからも鷹山公の想いを私達も引き継いでいきたいという決意を改めてすることになりました。

大学とのつながりから将来のビジョンを描く

サイエンス工房

九月二十六日、十二月二日の

二日間、山形大学大学院理工学研究科の廣瀬文彦教授、山口峻司教授、川口正剛教授のご指導のもと、山形大学工学部の各実験室を会場にして、サイエンス工房を開催しました。1回目は「身近なエレクトロニクス」「筋細胞活動電位の細胞内記録」2回目は「高分子材料の合成」というテーマに取り組みました。

サイエンス工房に参加して

2年 荒川 ゆり（米沢七中出身）

私たちは山形大学工学部でサイエンス工房という講座を受けました。動物の興奮についての講座では、大学の先生からの説明を聞いた後、生きている動物の神経を自分たちで取り出すところから始めました。実際に実験をしていくうちに、新たな疑問が浮かぶことや、予想した結果とは異なった結果が出ることもあり、そのようなときには、大学の先生や学生の方が丁寧にその原因を教えてください、より深く理解できました。実験は地道で、難しいこともありましたが、一つ一つ実験結果を吟味し、疑問を解決していくことはとても面白かったです。この講座で学んだことをこれから学習に役立てていきたいと思っています。



各種大会等の結果

運動部の活動

【置賜地区高等学校秋季総合体育大会】

【団体】

《第1位(優勝)》

◆ソフトテニス 男子団体

◆フェンシング 男子

◆バドミントン

男女(男子は19年ぶり・女子は2連覇
アベック優勝は初)

女子ダブルス

《第2位》

◆硬式野球

◆サッカー

◆ホッケー 男女

◆柔道 男子

◆剣道 男子

◆フェンシング 女子

《第3位》

◆バスケットボール 男子

◆卓球 女子

◆柔道 女子

◆ソフトテニス 女子

【個人】

《第1位(優勝)》

◆陸上競技

女子800m／女子1,500m

女子3,000mW／女子走り高跳び

◆ソフトテニス 男子個人

◆柔道

男子60kg以下級／男子100kg以下級

◆剣道 男子個人

◆弓道 女子個人

◆バドミントン

男子シングルス

女子ダブルス／女子シングルス

◆フェンシング

男子フルーレ／男子エペ／男子サーブル

《第2位》

◆柔道 男子81kg以下級

◆バドミントン

男子ダブルス／女子ダブルス

◆フェンシング

男子エペ／女子サーブル

《第3位》

◆卓球 女子シングルス

◆柔道

男子60kg以下級／男子81kg以下級

女子48kg以下級／女子52kg以下級

◆剣道 男子個人

◆バドミントン 女子シングルス

◆フェンシング

男子フルーレ／男子エペ／男子サーブル

女子エペ／女子サーブル

【山形県高等学校新人大会】

【団体】

◆フェンシング 男子

《第2位》

◆ホッケー 男子

《第3位》

◆ホッケー 女子

◆フェンシング 女子

【個人】

《第1位》

◆陸上競技 女子走り高跳び

◆フェンシング

男子フルーレ／男子エペ／女子エペ

《第2位》

◆フェンシング 男子エペ

《第3位》

◆フェンシング 女子サーブル

《4位入賞》

◆陸上競技 女子3,000mW

◆弓道 男子個人

【東北高等学校新人大会】

◆陸上競技

女子走り高跳び 第6位

◆フェンシング

〔団体〕女子団体 第3位

〔個人〕男子エペ 第6位

女子フルーレ 第1位(初)

女子エペ 第5位

【その他の大会】

◆弓道

県選抜弓道大会 男子団体 第3位

◆フェンシング

東北高校選手権大会

男子個人エペ 第6位

女子個人フルーレ 第1位

女子団体 第3位

◆水泳競技

第63回 国民体育大会山形県予選会

女子個人3m飛板飛込 第1位

女子個人高飛込 第1位

文化部の活動

◆吹奏楽研究クラブ

全日本吹奏楽コンクール置賜地区大会

優秀賞(県大会出場)

全日本吹奏楽コンクール山形県大会 金賞

全日本アンサンブルコンテスト置賜地区

団体 優秀賞(全チーム県大会出場)

◆新聞・文芸部

第30回 山形県高等学校新聞コンクール 優秀賞

地域とのつながり 吹奏楽研究クラブの訪問演奏

1年 高橋 麗菜（米沢七中出身）

三年生が引退し、私たち一・二年生は文化祭や施設訪問など数多く活動してきました。その中で、私が一番学んだことは「繋がり」です。一つ目は、部活動の仲間との繋がりで、初めは様々な方向を向いていましたが、一つのステージを創り上げる中で、協力し合う気持ちが芽生え、ひとつにまとめることができました。二つ目は、地域の方々との繋がりで、私たちの演奏に目を輝かせ笑顔で聴いてくれる子どもたち、演奏準備をする私たちに声を掛けてくださる地域の方々。音楽の楽しさやステージへ向かう強い気持ちを伝えることができたと思います。今後は、常に高い志を持ち、多くの方から愛される部活動を目指し活動していこうと思います。

